

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
戸別訪問の実施件数	2211	558	1009	28	50
ダイレクトメールの送付件数				464	

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進
資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

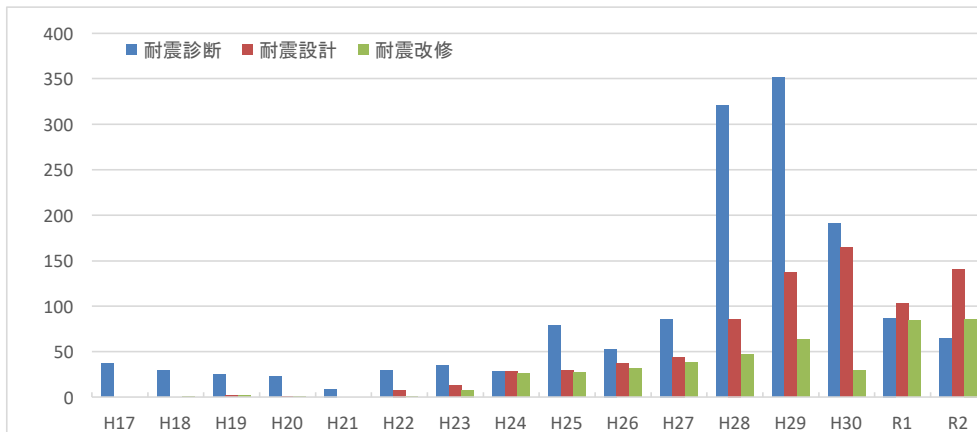
	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断士講習会	2	2	4	2	2
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	1	2	2	2	2
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	3	3	0	3
耐震改修技術学校	4回× 2会場	3回× 1会場	4回× 1会場	0	4回× 1会場
耐震補強工事実務講習会	4	5	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
広報誌等への掲載	1	1	1	3	2
説明会の実施		5		1	1
イベントでのブース展示	1	1	1	1	1

耐震改修の実績

(棟数)	H29	H30	R1	R2	R3 (予定)
耐震診断	352	191	87	65	
耐震設計	137	164	103	140	
耐震改修	64	30	84	86	140



前年度の取組内容

戸別訪問未実施の2地区に対し、郵送、地区の総会でのアンケートを実施した。
令和元年度戸別訪問で診断に興味があると回答した所有者に、制度の案内と診断申込書を送付した。
アピアさつきにて防災の日に合わせて毎年国土交通省が行っているパネル展示の際に、耐震化の事業説明展示を1週間実施した。
広報での周知に加え、耐震診断済みで未設計の所有者へ直接案内を送付し、耐震相談会を行った。

見えてきた課題

まだ制度の認知度が低く、耐震化に前向きでない方が多い。
診断、設計を基本無料としているが、設計段階での見積が高額で改修をあきらめることが多い。
申請者が多いため1年に診断、設計、改修の1ステップしか進めず、各補助金の配分の関係で抽選実施にもなっており、高齢者の多い申請者の気が変わることが多い。

今年度の取組内容

今年度も住宅耐震ブースの出展を行い、引き続き各種補助制度を積極的にPRしていく。
戸別訪問が全地区で完了したため、データの整理を行い、診断未実施者への働きかけを行う。
住宅所有者が診断を行うきっかけとなるように耐震相談会を行う。
診断省略や、1年間で耐震化を完了できる方法の検討を進める。
1階改修型の推進など、自己負担を抑えて改修に進める申請者が増えるような啓発を行う。

